

～地域密着型の病院を目指して～



しがらき

甲賀市立信楽中央病院



注意しよう！感染症



手を洗おう

ようやくコロナが収束しつつあるなか、新年早々に能登半島で大規模な地震が発生し、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。避難所での感染症拡大が深刻となっており、当院でも連日、発熱外来に多くの患者さんが来院されています。

冬は気温が低くなり、空気が乾燥するためウイルス性の感染症が流行します。特に流行しやすい感染症は、インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス）などがあります。



換気しよう

特にこの3年余り、コロナ下で感染防止策を徹底していたことで、ウイルスや病原菌に触れる機会が減り、ウイルスに対する抵抗力は落ちています。コロナ感染症対策が緩和されても予防対策を緩めないよう注意したいものですね。

特に免疫力の低い子供や高齢者が罹患すると重篤化するおそれもあります。感染症の予防は、自分を守るだけでなく、他人にうつさないメリットもあります。



自分たちでできる予防対策

- ① 十分な栄養と睡眠等を取って疲労を溜めないようにする
- ② マスク着用で飛沫感染を予防(着用の義務は無くなりましたが満員電車などの密室では飛沫感染予防になります)
- ③ 定期的な換気(換気は新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、インフルエンザ感染症対策にも有効です。1時間に5分～10分の換気が推奨)

一人一人が、できるだけ感染を広げないよう心がけるよう取り組みましょう。

Q なぜ冬に感染症が流行するのですか？

冬は、低温。低湿度を好むウイルスにとって最適な環境となります。空気が乾燥していると、ウイルスが蒸発して空気中の浮遊量が増え、咳やくしゃみの飛沫も小さくなるため感染範囲が拡大します。また、寒くなり体温が下がると免疫力が低下し、鼻やのどの粘膜が乾燥するためウイルス感染がおこりやすくなります。

Q 感染症はどのようにして感染するのですか？

感染症の主な経路は、感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれる病原体を吸い込む「飛沫感染」、乾燥して小さな粒子となって漂っている病原体を離れた場所で吸い込む「空気感染」、タオルやドアノブ、電車のつり革、嘔吐物などに触れた手を介して口や鼻から侵入する「接触感染」があります。

**病院からのお知らせを LINE でお届けします
QR コードを読み取って友達登録！！**

